

# レジストリ・レジストラ 関連状況報告

第73回ICANN報告会:2025年07月31日  
株式会社インターリンク  
JACOB WILLIAMS

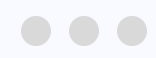


83 | POLICY FORUM

PRAGUE



<https://meetings.icann.org/en/meetings/icann83/herobanner.png>



## ICANN83: Policy Forum: レジストリ・レジストラ関連報告



GNSO: RrSG Membership Meeting – (レジストラ部会)

2025年6月9日(月)09:00 - 10:15 CEST (1つのセッション)



GNSO: RySG Membership Meeting – (レジストリ部会)

2025年6月10日(火)09:00 - 10:15 CEST (1つのセッション)

# レジストリ・レジストラ部会話題



## レジストラ部会の主要な話題

2025年6月9日(月)09:00 - 10:15 CEST (1つのセッション)

- 登録データポリシーの導入に向けた対応
- DNS Abuse に関する義務と対応状況
- 登録データリクエストシステム(RDRS) の初期評価と課題
- ICANN監査の範囲と運用負荷に関する懸念



## レジストリ部会の主要な話題

2025年6月10日(火)09:00 - 10:15 CEST (1つのセッション)

- PPSAI IRT (Privacy/Proxy Services) 再始動に向けた議論
- ベースRA改定案(DNS Abuse対策)の進捗
- DNS Abuse Working Groupの活動状況
- 登録データの正確性に関するフレームワーク (Accuracy Framework)

# レジストラ部会 (RRSG)

# レジストラ部会 (RRSG)



## 登録者データポリシー(Registration Data Policy)の導入 (1/2)

### ■ 導入に関する議論

- 2025年8月21日の適用開始に向けて、準備の遅れが懸念されている。登録者データポリシーの段階的導入が進行中。
- フルデータセットとミニマムデータセットの取り扱いや実装スケジュールに関して、実務レベルでの混乱が継続している。
- 多くのレジストリが未だにポリシー実装を進めていないことへの不安がレジストラ側から表明された。

# レジストラ部会 (RRSG)



## 登録者データポリシーの導入 (2/2 - Urgent Requests)

- 緊急リクエスト (Urgent Requests) に関する議論
  - ICANN83のRrSG部会において、登録者データへの迅速なアクセスを求める「緊急リクエスト (Urgent Requests)」機能の運用に関する懸念点が共有された。
  - 特に以下の課題が挙げられた:
    - 「緊急」と判断される基準の曖昧さ
    - レジストラ間で統一された対応フローやツールが存在しないこと
    - 誤用や誤解により、コンプライアンス上のリスクや法的責任が発生する可能性



# レジストラ部会 (RRSG)



## DNS Abuse に関する義務と対応状況 (1/2)

- ICANNの期待と契約上の義務の間にギャップがあるとして、レジストラから懸念の声が上がった。
- 契約で義務付けられている「対応義務 (Obligation to Take Action)」の解釈や適用にばらつきがあり、現場での混乱が続いている。
- 特に「Actionable」な アビューズの定義が曖昧\*\*であることが、対応負荷のばらつきや誤解を招いている。

# レジストラ部会 (RRSG)



## DNS Abuse に関する義務と対応状況 (2/2)

- 主な懸念点
  - アビューズ対応の判断基準に業界全体で一貫性がない。
  - 誤検知や自動生成された Abuse Report による対応コストが過剰になるケースがある。
  - 調査義務や法的判断責任をレジストラが一方的に負担する状況が拡大している。
  - 「通報対応」以上の責任が求められる風潮に対する抵抗感も共有された。
- アビューズ対応に関する明確なガイドラインの整備と実務的なベストプラクティスの共有が必要。
- ICANNとのさらなる契約解釈の擦り合わせや、補足的なガイダンス文書の策定をリクエストすることも検討している。



# レジストラ部会 (RRSG)



## 登録データリクエストシステム (RDRS) の評価 (1/2)

- RDRS (Registration Data Request Service) 導入後の初期運用状況について、レジストラから評価とフィードバックが共有された。
- 利用件数は非常に限定的である一方で、運用に必要な事務負担や技術対応コストは高いとの声が多く挙がった。
- 一部レジストラは、対応のたびに手作業が発生しており、自動化や効率化が困難と指摘。
- サービス提供の継続可否や改善にあたり、明確なKPIや成功定義の提示が必要との意見が多かった。

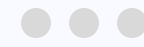
# レジストラ部会 (RRSG)



## 登録データリクエストシステム (RDRS) の評価 (2/2)

- 主な懸念点
  - 実際の需要 (リクエスト数) と投入されたリソースが見合っていない
  - 対応フローの標準化が不十分で、レジストラごとに運用がばらついている。
  - 利用者 (LEA – 法執行機関や第三者) に対する教育やガイダンスも不足しているとの指摘。

# レジストラ部会 (RRSG)



## ICANN監査 (Registrar Audit) に関する懸念

- ICANNによる2025年レジストラ監査について、対象範囲の拡大(スコープクリープ)への懸念が表明された。
- 特に「契約で明記されていない内容」にまで調査が及ぶケースがあると報告された。
- **主な懸念点**
  - 監査リクエストが過度に広範かつ一貫性に欠けるとの声がある
  - レジストラ間で監査対応の負担に大きな差がある
  - 一部では、監査結果の活用方針や目的が不明確との指摘もあった。

# レジストリ部会 (RYSG)

# レジストリ部会 (RYSG)



## PPSAI IRT (Privacy/Proxy Services) 再始動に関する議論

- ICANNによるPPSAI (代理登録サービス)ポリシーのIRT (実装レビュー作業部会)再開計画がRySGで取り上げられた。
- このIRTは、2015年に承認された勧告の実装を検討するための作業部会で、長らく保留されていた。

「再開は支持するが、明確なスコープとタイムラインを設定すべき」との提案があり、RySGとしては再始動に条件付きで前向きだが、「スコープの厳格な管理」を前提とすべきという意見。

# レジストリ部会 (RYSG)



## Base RA改定案(DNS Abuse対応)に関する議論

- ICANNとRySGとの間で交渉が続いていたBase Registry Agreement (RA) 改定案について進捗報告が行われた。
- 改定案は主にDNS Abuse対応強化を目的としており、報告義務や対応基準の明文化が含まれる。
- RySG側は、技術的・運用的負荷が現実的かどうかを重視して協議している。



## DNS Abuse Working Group の活動状況報告

- RySG内の\*\*DNS Abuse Working Group (WG) から、これまでの活動報告と今後の優先課題について共有があった。
- Abuse Report フォーマットの統一化に向けた取り組み(例: レポート受付手段、情報項目の最小要件)
- ICANN契約遵守部門(Compliance)との連携の強化: 不一致を減らすためのガイドライン提案



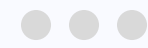
# レジストリ部会 (RYSG)



## 登録データの正確性 (Accuracy) に関するフレームワークの議論

- 登録データの「正確性 (Accuracy)」に関する新たな義務やフレームワーク策定の動きに対して、RySG内で懸念が共有された。
- GNSOにおけるAccuracy Scoping Teamの作業が停止した状態であるにもかかわらず、ICANN 組織Orgによる独自方針での進行に対する警戒感があった。
- 主な論点
  - 「正確性」の定義そのものが曖昧であり、既存の契約義務との関係が不明確。
  - 正確性確認に対してレジストリが直接的責任を負う構造には反対の立場が多い。
  - ICANNがコミュニティ合意のないまま、正確性フレームワークを推進する可能性について懸念。

**THANK YOU**



**お問い合わせ**

gTLD@interlink.ad.jp